

## Vol.1

民主主義・自治・協働のまちづくり

- 1.住民投票条例
- 2.商店街の再生
- 3.空き家対策@自治会
- 4.モノレール

※詳しくは2月のvol.1チラシで！

## Vol.2

子ども、教育、女性

- 5.政治のジェンダー平等
- 6.主権者教育
- 7.包括的性教育
- 8.小中学校への予算増、  
教育現場に余裕を

女性議員を半数に

## Vol.3

自然、農、環境、豊かさの継承

- 9.農あるまちあきる野を次世代へ
- 10.自然・風土・文化・湧水・屋敷林
- 11.秋川高校跡地
- 12.公共施設の再生

※詳しくは6月のvol.3チラシで！

ひとりひとりを大切に

## 5\_政治のジェンダー平等で暮らし変わる？

「政治は中高年男性が担うもの」そんな思い込みをもっていませんか？市政は教育や福祉や健康など女性にとっても身近な分野の政治です。これまでの男性中心という思い込みを見直して、議会の50%が女性になったら、？市議会議員の構成を、ジェンダーや世代など、さまざまな属性の人がいる人口構成に近くしていくことで、**今まで届いていなかった声を政治に活かす**ことができます。

## 6\_主権者教育をもっと

市民力

スローガンに掲げた「my voice your voice ～動き出す・まち 変わる・みらい」は、このまちの皆さんが、地域や社会の課題を「**自分ごと**」として捉え、考え、声にし、行動していくこと、そうすることで、地域や社会が変化し、未来を良くしていこうよ、という私たちからのメッセージです。

家庭でのお子さんとの会話や、学校での先生や友達との対話や議論、専門家を招いた学びなど、日常的に少しでも意識することで、見えてくるものや発想も変化します。テーマごとに語り合う「子ども会議」や「市民会議」を満足させるのも良いのではないのでしょうか。

世界情勢の不安定化や、AIの技術革新など社会が加速的に変化する中で、自分をしっかり保ち、地域や社会、政治にコミットしていく**市民力**。

現在～未来の大人に不可欠な基礎力です。

## 7\_包括的性教育を子どもたちに、そして大人に

いじめや虐待、性暴力、DVや性的搾取、SNSトラブルなど、子どもや若者、女性が被害に遭うケースが珍しくありません。**自分と他者の安全と安心を守り、一人ひとりが大切にされる権利**があるということを子どもたちに知ってほしいと思います。またその権利を脅かすものへの対処方法を知っておく必要があり、そのために必要なのが**包括的性教育**です。

包括的性教育は、人間関係や性の多様性、ジェンダー平等、健康と幸福のためのスキルなど幅広いテーマを含む教育です。子どもや若者に加え、大人にもこういった意識が浸透することが大切です。

子どもはみらい

## 8\_小中学校への予算増、教育現場に余裕を

未来ある子ども達には、のびのびとおおらかに日々を過ごして欲しいと願っています。その意味である野は、子ども達が育つ大変恵まれた環境であると思います。小中学校では教員の多忙や成り手不足が課題で、そのせいか先生の個性やゆとりを持った指導が少ないと感じます。「定額働かせ放題」と言われる給特法のR7年改正も、根本的な解決に繋がりませんでした。

教員の任命権は東京都が持ちますが、**市としても予算を増やし補助教員を配置**することは可能ではないのでしょうか。先生にも子どもにも、**余裕を持った教育環境**を整えていくことを求めています。

『みんな違って、みんないい～♪』子どもが小さい頃、金子みすゞさんの詩曲を初めて聴いた時の衝撃が今も記憶にあります。義務教育や日本の社会では、協調性が重視され、型にハマった価値観を押し付けられがち？でも子育てでは『みんな違ってみんないい』という気持ちを持って接したい。違いが認められてはじめて自発的な協調性が生まれるのでは？私自身も既成政党に属さず、しがらみのない無所属として行動すべく、政治団体『**voices. akiruno**』を立ち上げました。市民の近くで**オリジナルの活動**を続けます。

## &lt;プロフィール&gt;

寺坂久美 1972年東京生まれ埼玉育ち 2017年よりあきる野市小川在住  
夫・娘・息子・義父との5人暮らし 一級建築士

## &lt;好きなこと・もの・人&gt;

ビートルズ、坂本龍一、大橋トリオ、アコギ、フルーツ、あんこ、畑仕事、ヨガ、街歩き

## &lt;経歴&gt;

- 2000年 東海大学工学部建築学修士課程修了 大学時代はインドやベトナム、インドネシアバリ島などバックパック旅でアジアの多様な文化に触れる
- 2000～2004年 早川邦彦建築研究室にて都立高校や集合住宅の設計、公共施設のプロポーザルに携わる
- 2004年～現在 寺坂建築デザイン所一級建築士事務所  
住宅、レストラン、ウェディングやホテル他商業・業務施設の設計に従事
- 2009年 越後つまりアートトリエンナーレにアーティストとして参画
- 2017年 あきる野市小川に移住 「持続可能な田んぼ」を目指し、小川久保の田んぼにて協働による米作りを開始～実践中
- 2024年末より 「あきる野のいまを知る会」に参加  
秋川高校跡地のまちづくりやメタセコイア並木の保全などをテーマにフォーラムやミーティングで情報共有をしている
- 2025年 あきる野市総合計画審議会 住民代表委員として市政に参加

